

# 琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

電子号外

2021年(令和3年)  
6月12日(土)

発行所 琉球新報社

郵便番号 〒900-8525

那覇市泉崎 1-10-3

©琉球新報社2021年

# 系数、宮本五輪代表



昨年12月の重量挙げ全日本選手権で、男子67キログラム級で優勝した系数陽一(左)と同73キログラム級を制した宮本昌典=新潟県のニュー・グリーンピア津南体育館

# 重量挙げ61、73キログラム級

日本重量挙げ協会は12日、東京都内で理事会を開き、東京五輪の男子代表にリオデジャネイロ五輪4位で61キログラム級の系数陽一(豊見城高―日大出―警視庁)と73キログラム級の宮本昌典(沖縄工高―東京国際大出、同大職)ら4人を選出した。国際連盟が11日に発表した五輪ランキングで条件を満たしていた。系数は2大会連続の代表選出となった。2016年のリオデジャネイロ五輪62キログラム級では、スナッチ133キログラム、ジャークで日本新記録の169キログラムを挙げ日本初のトータル302キログラムで4位入賞した。17年の世界選手権では同階級で銀メダルを獲得した。

初選出となる宮本は、昨年12月の全日本選手権73キログラム級でスナッチ155キログラム、トータル345キログラムでいずれも日本新記録を樹立した。1964年東京五輪金メダルの三宅義信氏の教えを受け、急成長を遂げている。

そのほか男子は67キログラム級の近内三孝(日大職)、96キログラム級の山本俊樹(ALSOK)を選んだ。女子はランキングに入った選手がいなかったため、開催国枠で3人を選出することで確認した。今後正式決定される。